

| 授業科目名 | 開講年次 | 開講期間 | 単位数 | 授業形態 |
|---------------|---|--|------|------------|
| ヘルスプロモーション学特論 | 1 | 後期 | 2 | 講義 30時間 |
| 担当教員 | 長江弘子、鶴岡章子、川上裕子、久保幸代、高橋由希子 | | | |
| 授業概要 | 地域社会における生活習慣病等の疾病予防管理、および次世代の社会を支える健康づくりとQOLの向上、ケアの必要性を踏まえ地域アセスメント、保健医療計画立案までのプロセスを進めるうえでの知識基盤を学修する。そのうえで、高度実践看護師として必要な健康増進、健康教育とヘルスプロモーションの方法論を学修する。 | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康教育とヘルスプロモーションの歴史的、理論的背景を理解できる。 2. 健康教育とヘルスプロモーションに適用できる理論や概念、モデルについて理解できる。 3. プライマリケアNPの活動に活用できるヘルスプロモーションと健康増進能力向上に向けたアセスメントと介入計画とその評価方法を説明できる。 | | | |
| 履修条件 | 特になし | | | |
| 授業計画 | 回 | 内容 | 担当教員 | |
| | 1-2 | オリエンテーションヘルスプロモーションと健康教育の歴史的、理論的背景、理論の適用(健康信念モデル、変化のステージモデル、社会的認知理論など)、理論と実践(プリシード・プロシードモデルなど)、ヘルスプロモーションと健康行動の理論の基礎と国内外の動向を学ぶ | 川上 | |
| | 3-4 | 多様な場(家庭、学校、職場、地域等)における健康教育とヘルスプロモーションのためのコミュニティアセスメントの理論と実践ー行政・学校・住民・関係者協働の健康増進計画立案と健康教育の展開、評価ー | 鶴岡 | |
| | 5-6 | 多様な場(家庭、学校、職場、地域等)における健康教育とヘルスプロモーションの理論と実践ー生涯の健康を見据えた小児からの健康教育の展開(骨粗鬆症予防、足の健康等)ー | 鶴岡 | |
| | 7-8 | 多様な場(家庭、学校、職場、地域等)における健康教育とヘルスプロモーションの理論と実践ー職域におけるメンタルヘルス対策を中心とした健康教育の展開ー | 川上 | |
| | 9-10 | 多様な場(家庭、学校、職場、地域等)における健康教育とヘルスプロモーションの理論と実践ーフレイル予防のための健康教育の展開ー | 川上 | |
| | 11-12 | ウィメンズヘルスに関わる多様な対象のヘルスプロモーションと健康教育の理論と実践(産後うつ、虐待予防(子育て支援)、尿失禁、更年期、骨粗しょう症等) | 久保 | |
| | 13-14 | 鴨川市における健康教育とヘルスプロモーションの取り組み | 高橋 | |
| | 15 | 地域特性を踏まえた健康づくりとQOLの向上を目指し、エンドオブライフケアを基盤としたナースプラクティショナーに求められるヘルスプロモーション・健康教育の展開に関する今後の課題と研究課題を検討する。 | 長江 | |
| 教科書 | 適宜提示する。 | | | |
| 参考書 | 日本健康教育士養成機構：新しい健康教育、保健同人社、2011. 日本健康教育学会編、健康教育ヘルスプロモーションの展開、保健同人社、2005. その他、必要に応じて紹介する。 | | | |
| 評価方法・基準 | 事前準備とプレゼンテーション(50%)、討論の内容(50%)で総合的に査定し、到達目標の達成度で評価する。 | | | |
| 事前・事後学習 | 事前に示した資料を読んでおくこと。事後には講義で学んだ技術を実習で応用すること。 | | | |